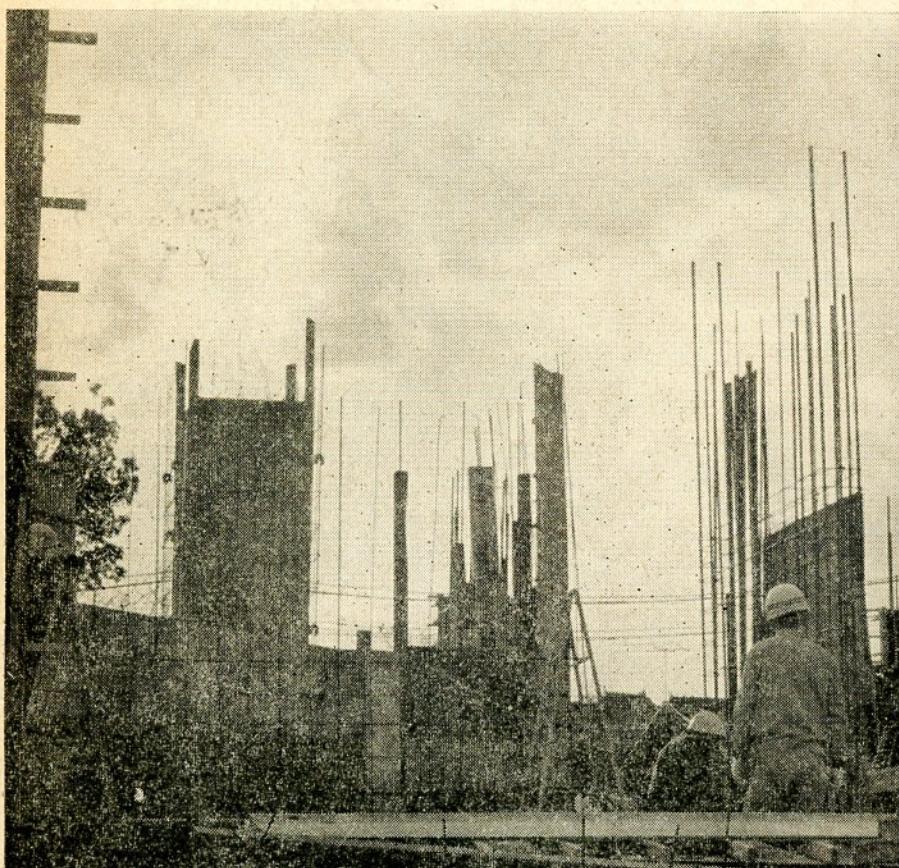


# どどり市報

1

1964・No.141



1月のこよみ  
元日  
大寒  
小寒  
成人の日  
始業日  
ご用始め  
文化財防火デー

26日 21日 15日 6日 4日 1日

- ★新年市民合同祝賀会(1日遷喬小)
- ★消防出初式(6日堀端)
- ★消防関係者表彰式(6日)
- ★小中学校始業日(9日)
- ★成人式(15日市立体育館)
- ★工業統計調査(15日まで)
- ★戸籍互審会(中旬法務局)
- ★市設市場運営協議会(中旬商工会議所)
- ★農業近代化青年婦人協議会(中旬白砂)
- ★水稻多収穫共進会表彰式(中旬市長室)
- ★和牛肥育講習会(中旬和ほか)
- ★陰陽四国市議会連絡会議(中旬当市)
- ★損失補償打合会(下旬)
- ★農業構造改善事業部落座談会(13日~下旬各地区)
- ★海外移住促進協議会(下旬明治公民館)
- ★農家経営競技会表彰式(下旬)
- ★砂丘地振興打合会(下旬市農協)
- ★天災融資金取扱者説明会(市農協)
- ★農協合併推進協議会(下旬)
- ★害獣駆除実施(下旬大和地區)

## 市庁舎建設現場

天空を突く柱筋

新らしい一日めくりを、一枚一枚順調にめくりながら工事を進めている市庁舎建設現場をのぞいて見た。ここに働く人々も、新らしいいふきをからだ全体からはなしながら、たくましく働いていた。

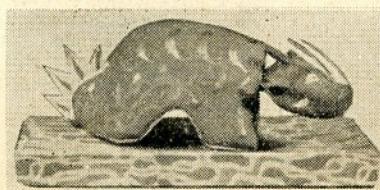
黒く天空を突く柱筋は、伸び行く鳥取市を象徴するかのように、あちらにもこちらにもガッチリと腕を組んで空を見上げていた。

一打ち一打ちのつち音が、新らしい力を呼び、健康都市がつくられて行く。

## 鳥取市民憲章

一、わたくしたちは

だれにも親切にしまじょう。  
正しく時間を守りまじょう。  
まちに緑を育てまじょう。  
公共物を大切にしまじょう。  
清潔な環境を作りまじょう。



(田中達之助作)

輝かしい、昭和三十九年の新春を、市民のみなさんとともに迎えることはほんとうによろこびにたえません。

昨年は市民みなさんの理解あるご支援によって、再び市政を担当する重責をあずかり、微力ではありましたが誠実に精魂をつくしてまいりました。私はみなさんに公約しております清く、明るく、そして信頼される市政をモットーに、健康都市の建設と、谷間のないまちづくりを目標に全職員一丸となって、邁進する覚悟であり、同時に、今年は辰の年でもありますので、雄峰富士の上を雲を呼び風をはらんで、すさまじい勢いで昇天するあの辰の絵のことく、たくましい姿で市政も大きく飛躍し、隆昌する年でありますようにと固く期しております。

市民みなさんの温たかいご支援と、ご協力を心からお願いし、さち多い年でありますよう祈っております。

市民のみなさん

あけまして

おめでとう

ござります



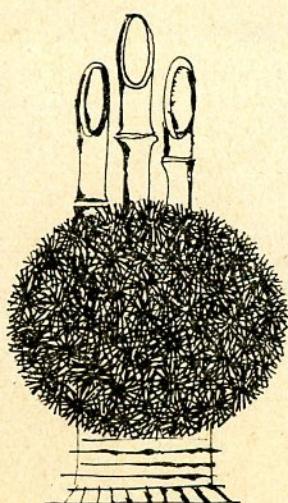
渡辺議長



高田市長

辰にちなんで

飛躍の年に



希望にみちた昭和三十九年の新春を十一万市民みなさんとともに迎え、郷土鳥取市の発展と、市民みなさんの幸福を心からお祈り致します。

本年は長い間の財政再建団体として市財政の建直しに専念してきた最終年度であり、市政発展の前進に光明を見いだす年であると思います。

すなわち、財政再建団体の終了に伴って市財政が一人立となり、市民の福祉向上のための諸施策が実現され、明るい谷間のない市政の発展を夢みることができるでしょう。

市議会と致しましても、三十六名の議員、一丸となり、市民みなさんの愛市の熱情を大きな支柱として、市政と取り組み、市政の飛躍伸展のため懸命の努力を傾注してゆく覚悟です。市民みなさんのたえざるご協力と、ご鞭撻をお願いいたします。

# 成人式を迎える

## 一六三六人

法律的にも、社会的にもおとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い、そしてはげます成人式が、15日に行われ、今年も一六三六人の青年たちがこの祝福を受けられます。非常にめでたいことなので、市の広報係では、このうちから男女一名づつの代表の方に、「成人式を迎えるにあたつて」その心境と抱負について語っていただきまし

**武田捷子**

(大丸百貨店営業第一部第一課勤務)

私は西高を卒業して、大丸百貨店にお世話をなつたのですが、仕事はもちろん

それ以外のことでも、会社の人をはじめとするおとなの方たちにあまえていたよう

今年成人式を迎えるといふことは、やはり嬉しいと

いうことと、与えられた権利、義務の重要性を感じます。

これから自分で自分を意識し、そして判断しながら自分の事は自分できめています。

としての個人を認められた

動がないのかもしれない。

ともあれ青春は再び帰らな

い。今日という日は明日に

はないと思えば、その一日

午前三時、この本通りは

まだ、すんとお暗闇のトン

ネルで、

星はモルタル塗の、

重い天からこぼれる、

鍵穴の先だ。

この時間、建物は確かな建

物に、

道は確かな道になり、

俺は心持ち背をまげて

このもろもろの凝視する存

在のままで、

俺の影に支えられて立つて

いる。

夜目に白いのは、

亀裂のなかから拡がる水道管の霧だ、

それが俺の固い唇に触れる

と

薄汚れた説得が剥げて

下水孔に流れ落ちる。



山崎勝弘

(市役所厚生課勤務)

いつのまにか成人になつたという感動だけで、特別の感動はおぼえないが、選挙権ができ、酒、煙草を公然としなむことができる。一応社会的におとな

厳しい兵役義務に服した。いまはその検査にかかるものが成人式であろう。昔の徴兵検査のような、身にひきしまるものがないので感

う。徴兵検査があり、これでおとなになつたことになる。そして合格者には二ヶ年の

ある。できない者が無理をするより自分でできること

と

のは、一応社会的におとな

にぶらさがると森はさゝやき合って太陽を蓄えた。ふと眼をさます気になる。母親は生命を生む大地を信した。

青年人を祝い、そしてはげます成人式が、15日に行われ、今年も一六三六人の青年たちがこの祝福を受けられます。非常にめでたいことなので、市の広報係では、このうちから男女一名づつの代表の方に、「成人式を迎えるにあたつて」その心境と抱負について語っていただきまし

詩 鶯見まさ子 稲村謙一選 清水亮

〔総評〕新鮮にかけていた、詩らしい言葉に自分の感じたことをあてはめず、自分の言葉をみつけて表現してほしい。

### 入選一位

東品治町

竹内米明

包む

半球の彼方で、朝が夜を振りきらうとする気配を感じるのはいるだが、

午前三時、この本通りはまだ、すんとお暗闇のトンネルで、

星はモルタル塗の、

重い天からこぼれる、

鍵穴の先だ。

この時間、建物は確かな建

物に、

道は確かな道になり、

俺は心持ち背をまげて

このもろもろの凝視する存

在のままで、

俺の影に支えられて立つて

いる。

夜目に白いのは、

亀裂のなかから拡がる水道

管の霧だ、

それが俺の固い唇に触れる

と

薄汚れた説得が剥げて

下水孔に流れ落ちる。

### 入選二位

庵丁人町

佳作時雨

三位 少年群に思う

元鉄物師町井上儀信

佳作時雨

三位 少年群に思う

元鉄物師町井上儀信

にぶらさがると森はさゝやき合って太陽を蓄えた。ふと眼をさます気になる。母親は生命を生む大地を信した。

或る日、幾百年波浪にきり立つ岩肌にびっしりしがみつく漁港田後のすさまじい

母親はいきなりほほをなぐられた

ように、次第に潤い満ちる血潮を知った。

ママ、人間ノ匂イガスルヨ。息子が母親を見あげる

と海はさゝやき合つてオゾンを蓄えた。

生きるって素的なことサ

父親は生命を育てる自然を信じた。

ああ、その霧でその人達を包めるものなら……。

念的な言葉で作品を弱くして

いるのが惜しまれる。

形式を整えようとした概念は屈折させた確かな表現で群をぬいでいる。

俺は心持ち背をまげて

このもろもろの凝視する存

在のままで、

俺の影に支えられて立つて

いる。

夜目に白いのは、

亀裂のなかから拡がる水道

管の霧だ、

それが俺の固い唇に触れる

と

薄汚れた説得が剥げて

下水孔に流れ落ちる。

